

2019/10/15

*Long Vowel Shifts in English*

### 1.3.4 Introduction and description of additional ME sources

「加えられた資料」からの資料は、これまでに議論された調査には含まれていない。私はすべてのエディションが元の文献の忠実な印刷かを確信出来ない。いくつかの（印刷版の）言語は間違いなく均質化されている；それゆえ、間違いなく不規則な綴りが現れている限り、それらは元のテキストの特徴であるに違いないのである。仮であったとしても、ほとんどの資料は年代が特定されている；他の利点は、制作場所が突き止められている点である。未だ LALME の総括での分析はされていないが、いくつかの文献は Laing (1993) により記述されているものもある；他の資料は LALME のインデックスに現れているが、地図、あるいは LP の形態では現れていない。年代と場所については、私は Laing (1993) による情報や、LALME と同様に、編者の注を利用した。編者による年代、制作場所、Laing (1993)、LALME によるそれらに不一致がある場合は、後者 2 つを利用した。これらの場所の特定がこれまでになされた例や、言語的な証拠が不十分でない例で、LALME の地図の助けのもとに、あり得る地域に到達するという試みがなされた。場所（の特定）が不可能、あるいは不確定な場合、私はこの点について言及したが、それでも母音変化に関する重要な証拠を含んでいる。

Bennett and Smithers (1966) は、おおよそ 1175~1330 年の時期の初期近代英語の資料を提供している。資料はわずかな例を除いて年代が特定されていて、短い詩を除いて場所が特定されている。Brown (1950) は刊行されていない 13 世紀の ME の詩を、Brown (1952) は 14 世紀の宗教詩を提供している。資料は大まかであってもほとんど年代が特定されており、少なくとも一応場所が特定されている。Burrow (1992) は（いくつかの写本や初期刊本はこれより後のものであるが、）1300~1500 年の ME の韻文を提供している。資料はほとんど年代が特定され、地域が特定されているが、年代と場所の特定が写本で行われたのか、写字楼で行われたのか、あるいは資料の言語で行われたのかは不確定のままである。14 世紀からの 3

つの概略は 1500 を超える医療の手引書を含んでいる。これらの資料は *Rawlinson Compendium*, the *First Corpus Compendium*, the *Second Corpus Compendium* として知られており、ラテン語、アングロ・ノルマン語、英語で書かれている。Hunt and Benskin (2001) はこれらの校訂版を提供している (86~88 頁の編集方針を参照)。2 つの資料の編纂だけが、英語のテクストを多く有している；医療の手引書の言語の Benskin による説明 (2001: 193-230) はこれゆえ、これら 2 つを含んでおり、私のリストの関係のある形式はこれらから抜粋された。2 つのテクストの Benskin の LP は *LALME* の形式に従っている；彼は、言語は W Norfolk / Ely に属し、写字生 (の年代) を 1320~1330 年と結論づけている (2001: 207)。